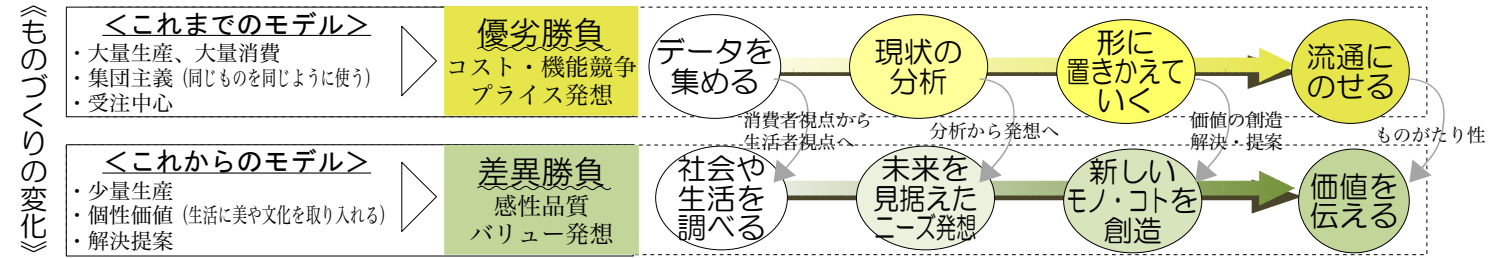


山形県デザイン振興指針 ～ものづくり産業におけるデザインを活用した価値の創造～ 概要

■指針の目的=企業におけるデザイン力向上のための行政施策の基本的方向と具体策を示し、本県ものづくり産業の振興に資する

- ものづくりは、生活や文化を進化させ、新たなライフスタイルを形成する創造性を包含している。
- 時代と共に多様化するニーズ（個人・社会）に対応していくことが要求される。
- ものづくりには、プロダクトアウト（企業側の論理）ではなくマーケットイン（市場指向）の考え方が重要であるが、これからは『ニーズを発想し、新しい価値を創造する』ことが必要であり、そのため「感性」を意識したデザインが特に求められる。



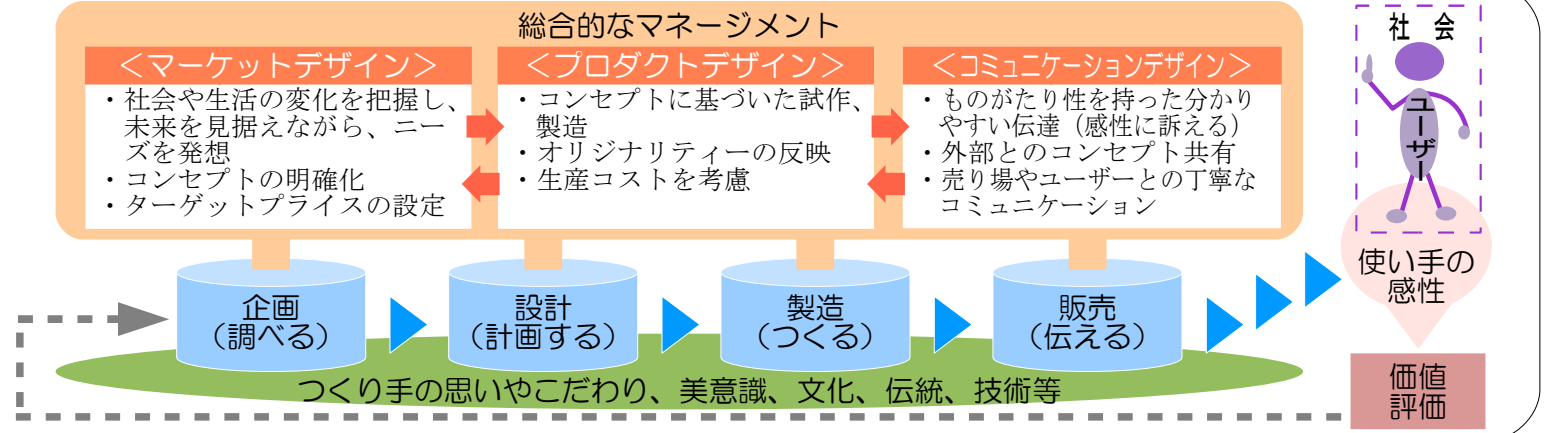
ものづくり産業におけるデザインの役割

◇デザインとは…

- 「意匠」=モノの色や形だけでなく、問題解決のために計画を立てて、いろいろ創意工夫する行為。
- あらゆる分野にその対象を広げることが可能だが、特に、ものづくりでの更なる活用が期待される。

◇ものづくり産業におけるデザインの役割

- デザインの役割は、未来を見据えながらニーズを発想して新しい製品やサービスを創造し、その価値を分かりやすく伝えることで、評価を高めること。
- 本指針では、デザインをつくり手の思いやこだわり、美意識、技術等を土台とした3つに整理。
- 3つの領域におけるデザインの活用と総合的なマネジメントが重要であり、それを担う者（権限のある者）は、デザインを十分理解する必要がある。



デザイン活用に係る現状と課題

◇企業の意識

- デザインへの意識の高まり**
(デザインを重要視する割合 H16:79.4% → H23:85.5%)
- 経営者のデザインに対する理解の不十分さ**
(課題として「デザインの費用対効果が不明」と回答した企業:9.1%)
- 企画力・マーケティング力の不足**
(課題として「製品企画力」「マーケティング力」と回答した企業:65.8%)
- 身近な相談先利用への希求**
(今後利用したい相談先 工技セ:21.5%、芸工大:20.2%)

◇現状

- 山形エクセレントデザインの認知度の向上と出品数の増加
認知度 H16:32.1% → H23:59.9%
出品数 H13:55件 → H18:73件 → H23:100件
- 外部デザイナーとの協業による企業の成功事例
- 人材育成に取り組む企業が多い
- 本県のグッドデザイン賞の受賞は少ない
H21:1件(全体1,034件)、H22:2件(全体1,110件)、H23:3件(全体1,130件)
- 芸工大、DEN※、工技セへの相談実績が少ない
※NPO法人山形県デザインネットワーク

◇課題

- 企業のデザイン力の向上が必要**
 - デザインに関する相談・支援体制の充実が必要**
 - 関係団体の連携強化が重要**
- ＜総合的なマネジメント力＞
・経営者のデザインに対する正しい理解が重要
- ＜企業内のデザイン人材＞
・デザインスキルを持つ人材の育成、確保が重要
- ＜企画力及び販売力＞
・「売れる」ものづくりのためには強化が重要

行政施策の基本的方向と具体的振興策

＜基本的方向＞

- 経営者のデザインマインドの深化**
・企業の経営レベルでのデザイン活用促進 = 経営者の理解を深める
- デザインスキルを持つ人材の育成**
・デザインスキル（企画力、製造力、販売力）を持ち、企業の核となる人材を育成
- 「山形発」オリジナルデザインの育成**
・山形のアドバンテージを活かし、使い手の感性に訴えるような独自性の高いものづくりを促進
- デザインに係る相談、支援体制の充実**
・企業が効果的にデザイン活用を進めるための支援体制を充実（大学、デザイン関係機関、産業支援機関、工技セ）

＜具体的振興策＞

- 経営者等のデザイン理解を深める講座の開催（デザインに関する専門家、東北芸術工科大学等の人材）
- 新しい製品やサービスの発想・協働を誘発する、経営者等を対象とした交流会の開催
- 優れたデザインの製品に触れる機会の提供（情報提供、県内での展示）
- 開発担当者等を対象にした研修、塾等の開催
- 山形の強みである東北芸術工科大学の有する人材、知識を活用した商品開発の推進
- 効果的なPRを学ぶ機会の提供、支援強化
- 県工業技術センターにおける、人材育成を含めたデザイン支援機能の強化
- 県内の優れたデザインの製品の顕彰（2年ごとの開催、制度[分野や審査基準等]の検討）
- 県外展示やPRへの支援（展示会情報、ノウハウの提供等）
- 優れたデザインの県内展示（企業とユーザーとの交流、県民への普及）
- 県内企業とデザイナー等との協業による、山形のデザインを牽引する先導的取組みの促進
- 東北芸術工科大学、デザイン関係団体、県工業技術センターを核とするネットワークの創設（相談窓口の充実）
- デザイン情報（支援ツール、県内デザイナー等）の共有と共同発信
- 支援側のスキル向上を目指した勉強会
- 各事業への横断的な協力事業内容の検討、提案